

学校施設貸出における屋内運動場空調設備の利用について

日頃より学校体育施設の使用に際し、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

墨田区では、児童・生徒の熱中症予防及び災害発生時の避難所施設の機能向上を図ることを目的に、区内小中学校の屋内運動場に空調設備を順次設置しておりますが、学校施設を利用する団体につきましても、下記のとおり空調設備を試行的に利用して頂けることにいたしましたので、お知らせします。

記

1. 利用可能日

令和3年6月14日(月)から

2. 対象施設

屋内運動場(体育館、武道場、多目的室)

3. 空調設備の使用にあたって

(1) 夏季(おおむね6月から9月まで)における空調機の使用については、気温28以上の場合に使用ができますので、使用を希望する場合は、学校施設管理者までお申し出ください。

(2) 空調機の操作は学校施設管理者が行いますので、利用者は操作しないでください。

(3) 空調使用時間は、施設利用承認時間内とします。

(4) 定期的に換気を行ってください。

冬季における暖房の使用については、別途お知らせします。

熱中症事故の防止について

熱中症予防の原則

- 1 環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと
- 2 暑さに徐々に慣らしていくこと
- 3 個人の条件を考慮すること
- 4 服装に気をつけること
- 5 具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること

WBGT	湿球温	乾球温	熱中症予防のための運動指針	
31℃ 以上	27℃ 以上	35℃ 以上	運動は原則禁止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に、子供の場合には中止すべき。
28℃ 以上	24℃ 以上	31℃ 以上	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いため、激しい運動・持久走は避ける。頻繁に休息をとり、水分を補給する。体力のない子供、暑さに慣れていない子供は運動中止。
25℃ 以上	21℃ 以上	28℃ 以上	警戒 (積極的に休息)	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おきに休息する。
21℃ 以上	18℃ 以上	21℃ 以上	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21℃以上では、熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に水分を補給する。
			ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分を補給する必要がある。

温度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

WBGT (Wet-bulb Globe Temperature) は気温(乾球温度)、湿度(湿球温度)と輻射熱(黒球温度)および気流の影響も反映された、総合的に暑さを評価できる温熱指標です。